

# 一人ひとりの違いを 尊重できる社会をつくるために

～市民によるボランティア活動の輪を広げて～

最近ではわが国でも、ボランティアという言葉がなじみ、その活動も多種多様になってきました。ボランティアの語源は「意志」を意味するラテン語に由来があるといわれ、自分の意志で、だれかのために、進んで行う行為のことを示します。

ボランティアは、だれにでもある自然な気持ちから始まる活動であり、自分の興味や関心、時間、ライフスタイルなどに合わせて参加することができるものです。活動を通して、自分とは違った考え方や生き方をしている人々と出会い、一緒に何かに取り組むという共通の体験に基づいた学び合いが可能となることから、自らについて振り返る機会が与えられたりします。そこで出会う関係は、「してあげる」「してもらう」という一方的なものではなく、対等かつ双方向性のあるものです。年齢や立場、地域、国籍などを越えたさまざまな人々との有機的なつながりが、市民の力によって生み出されていくことが醍醐味であり、そのような営みが、だれにとっても住みやすい、やさしい社会を実現するための大きな役割を果たすといえるでしょう。

## ＊ ボランティアの活動例

### 日常的なプログラムをともにする活動

ナガノさんは、20代の大学生です。自宅近くのグループホームで月1回行われている夕食会の買い物と食事づくりを手伝っています。また、夕

食をともにしながら、入居者の方々の話し相手になっています。

### 得意分野を生かした活動

ある地域活動支援センターでは、生け花、パソコン、写真、絵画、合唱など、さまざまなプログラム活動を行っています。60代を中心とした地域のボランティア団体に所属する人たちが、各々の趣味や特技を生かし講師を務めています。

### コンサートやバザーなどイベント時の活動

ウエダさんは、30代の会社員です。仕事で忙しい毎日を送っていますが、社内誌でボランティア情報を見つけ、ある社会福祉法人が企画・運営するコンサートの会場係を務めました。以後、年1回のコンサートには、欠かさず参加するよう心がけています。

## 始めてみよう！

### 身近なところで、できることから！

ボランティアや市民活動を支援するために、情報提供や相談活動を行うボランティアコーディネーターが、都道府県および市町村の社会福祉協議会などに置かれています。また、精神保健福祉ボランティア講座などをはじめ、さまざまな活動領域に関する講座も開催されています。最初は勇気がいるかもしれませんが、自分以外の人々とのかわりを通して、新しい自分に出会うことのできる可能性を秘めたボランティアの世界に、第一歩を踏み出してみませんか。

